

# 10月31日（火）

## 生活目標について

11月は季節でいうと、もう秋です。秋はスポーツの秋、食欲の秋と様々なことに取り組んでみようという季節ですね。そんな中で、今日は「読書の秋」についてお話します。

少しでも読書に興味を持ってもらえるように、今日は、本を読むとどんないいことがあるかを3つ伝えます。

一つ目は、言葉を知ることができることです。友達に何かを伝えようとしたときに「そんな意味で言ったわけじゃないのに」とけんかになったことはありませんか？ 似たような意味でも、伝える言葉によって、相手が嫌な気分になってしまう言葉があります。本を読むと、たくさんの言葉を知ることができ、自分の気持ちにピッタリあった言葉を選んで、伝えられるようになります。

二つ目は、集中力がつくということです。本を熱心に読んでいくと、あっという間に時間が過ぎてしまいます。それは本を読むこ

とに<sup>しゅうちゅう</sup>集中しているということです。その<sup>しゅうちゅうりょく</sup>集中力は、<sup>まいにち</sup>毎日の

<sup>じゅぎょう</sup>授業でも「<sup>しゅうちゅう</sup>ここは集中してがんばるぞ、どうやったらできるのかな」と、<sup>かんが</sup>あきらめずに<sup>ちから</sup>考える力になります。

三つ目は、**たくさんの<sup>せかい</sup>世界を知ることができる**ということです。

<sup>たと</sup>例えば、「これはのみの<sup>す</sup>ぴこが住んでいるネコのゴエモンのしっぽ  
ふんずけたアキラくんが・・・」とつい<sup>おぼ</sup>覚えて<sup>くち</sup>口ずさみ<sup>はなし</sup>たくなるお話、  
お昼寝前にミニカーの取りあいっこでけんかをしたふたりが  
<sup>しか</sup>叱られて<sup>お</sup>押し入れに<sup>い</sup>入れられてしまい、そこから<sup>だいぼうけん</sup>ふたりの大冒険が  
<sup>はじ</sup>始まるお話。<sup>はなし</sup>毎日<sup>まいにち</sup>つけている<sup>にっき</sup>日記をお母さんに<sup>よ</sup>読まれたことに<sup>はら</sup>腹を  
<sup>た</sup>立てた<sup>おとこ</sup>男の子が、<sup>かあ</sup>お母さんが<sup>えんぴつ</sup>鉛筆を<sup>てん</sup>天ぷらに！<sup>そら</sup>空からブタが  
<sup>ふ</sup>降ってきた！と<sup>あした</sup>明日のことを<sup>にっき</sup>日記につけ<sup>はじ</sup>始め、それが<sup>げんじつ</sup>現実で<sup>お</sup>起きて  
しまう<sup>はなし</sup>お話。

<sup>ほん</sup>本の<sup>かず</sup>数だけ<sup>はなし</sup>お話が<sup>ひろ</sup>広がっています。たくさんの<sup>せかい</sup>世界を知って、「こ  
<sup>せかい</sup>んな世界があると<sup>いいな</sup>いいな」と<sup>そうぞう</sup>想像してみるのも<sup>おもしろ</sup>面白そうですね。

<sup>こんげつ</sup>今月の<sup>せいかつ</sup>生活<sup>もくひょう</sup>目標は「<sup>あいさつ</sup>あいさつと<sup>どくしょ</sup>読書で<sup>こころ</sup>心に<sup>えいよう</sup>栄養を」です。

11月には、<sup>どくしょまつ</sup>読書祭りも<sup>はじ</sup>始まります。<sup>ことし</sup>今年<sup>きよねん</sup>は去年よりもさらに、

わくわく<sup>たの</sup>楽しい<sup>どくしょまつ</sup>読書祭りになるよう、<sup>としょいいんかい</sup>図書委員会<sup>じゅんび</sup>で<sup>すす</sup>準備を進めてい

ます。たくさん<sup>ほん</sup>本を読み、<sup>ゆた</sup>豊かな<sup>こころ</sup>心<sup>も</sup>を持った<sup>おうぎっこ</sup>扇っ子になれるといい

ですね。